

平成 21 年度再評価対象事業一覧表 (事業採択後、一定期間(5~10年)が経過した時点で継続中の事業又は未着工の事業)

番号	事業名 (路・河川名等)	事業目的	事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	費用対効果の要因の変化	コスト縮減や代替案等の可能性	再評価理由	対応方針 (事業課)	備考
2	都市公園整備事業 伊万里ファミリーパーク 事業主体：伊万里市 事業地：伊万里市	子供からお年よりまでの来園者が、家族ぐるみで一日ゆったりと遊び憩いながら過ごせる、世代間を超えた交流の場とするためと、海と山を兼ね備えた「いまり」の自然環境のもつ魅力を体感できる施設になることを目指し整備をするものです。 また、併設予定の「黒澤記念館」との相乗効果により、観光の拠点として伊万里をアピールする施設となるように整備していくものです。	全体事業費 19.97億円 計画面積 27.6ha 事業期間 H12～H26年度 主要施設 芝生広場、園路、便所、駐車場、街灯、植栽、遊具施設、修景施設、草スキー場、管理棟ほか 事業認可変更 H18年3月 本年度事業認可変更予定	平成20年度末 ・ 供用面積 5.9ha (進捗率 21.4%) ・ 事業費 16.62億円 (進捗率 83.2%) 供用面積 H18 5.4ha H20 5.9ha 整備済 駐車場 管理棟 鷲が原(芝生広場) 竹の谷(遊具広場) 草スキー場 昆虫の森(散策路) 以上における修景施設等 平成21年度以降の整備 北西ブロックの岬部分を中心に整備を行う。	伊万里市では、伊万里湾大橋の開通や県道黒川松島線の整備が進んでいる。このため、当公園のアクセス道路整備により、市内一円からの利用者の増加も見込まれる。 現在、西九州自動車道が工事着工されおり将来的に市外からのアクセスの環境も整うことになる。 一方で、地区主催の「クロスカントリー大会」も開催されており地域の公園としても根付いている。	事業採択時と比較して大きな要因の変化は認められない。	建設残土の現場内の利用を含めて副産物の発生を極力抑えるように、地形を生かすようする。	10年以上継続	継続 当公園は、平成18年度に一部開園を行い、来園者も年々増えている。 引続き、整備区域の自然環境及び景観を活用し、自然を満喫できる整備を計画している。	

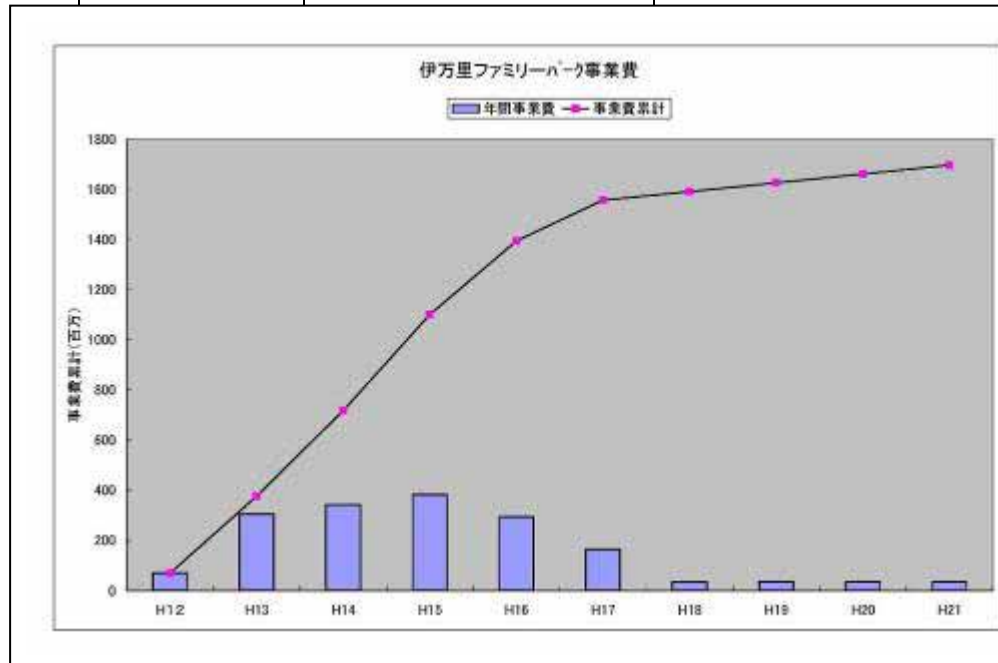


利用状況(クロスカントリー大会)



今後整備箇所

今後整備箇所  
夕照の木場より伊万里を望む



H18年度より  
一部供用 →

